

H30年度 南清小学校研究

1. 研究主題

「見方・考え方」を働かせながら学ぶ子の育成

2. 主題設定について

○子ども達の姿から

平成27年度から昨年度まで、「自ら学び、豊かなかかわりを築いていく子の育成～探究的・協働的な学びを通して～」という研究主題を設定し、生活科そして総合的な学習に取り組んできた。平成28年度には、千葉県教育研究会生活科・総合的な学習教育研究会君津大会を開催することができた。日々の学習の中で、課題解決の時間を増やしたり、グループで協力して活動したり、自分たちでテーマを決めて学習を進めたりしてきたことで、探究的で協働的な学びの姿が多く見られるようになった。

○指導者の姿から

3年間の生活・総合的な学習の研修は、子ども達の学ぶ姿だけを確立させただけでは、指導者自身が課題を“自分ごと”として捉え、自ら生活科・総合的な学習に取り組む、今まさに言われている「カリキュラム・マネジメント」を実行してきたとも言える。指導者が、子ども達のどのような資質・能力の育成を目指すのかを明確にすることを意識できるようになった。

○新学習指導要領から

新学習指導要領には、「知識及び技能が習得されるようにすること」「思考力、判断力、表現力等を育成すること」「学びに向かう力、人間性等を涵養すること」の実現のために、各教科の指導目標が大きく変化した。また、学校教育においては、教育の内容を教科等横断的な視点で組み立てていくことや教育課程の実施状況評価してその改善を図っていくことなど組織的かつ計画的に教育活動の質の向上を図っていくこと「カリキュラム・マネジメント」に努めることも明記されている。

以上をふまえ、本年度の研修は、3年間の生活科・総合的な学習の研修を生かしていくものとする。

具体的な取り組み

- ①研究教科を、低学年、中学年は国語科、高学年は理科・社会科とする。
 - ・音楽専科→音楽の授業（略案） 算数T.T. →算数の授業（略案）
 - ・スタディ→生活科を中心に行う。（交流学級とは別に実施）3回の授業候補の日程以外で実施し、全員で授業参観をする。その後、担任は講師より指導を受け、放課後の全体研修で、講師による講話を全体で聞く。
- ②教科間のつながりを表した年間指導計画を作成する。
- ③校内授業研究会後に各自で研究のまとめを行う。
- ④道徳の研修を取り入れる。
 - ・前期前半の実践例を持ちあって、今後の授業に生かせるようにする。
- ⑤若手教員研修チームの授業実践は引き続き行い力量アップを図る。
対象者は10年未経験者の教諭
- ⑥気楽に授業を見せ合う雰囲気作り、いつでもだれでも授業参観を行う。